

県 勢 44 年ぶりの快挙 明秀日立サッカー部がインターハイ優勝

明秀学園日立高等学校サッカー部が、7月29日から8月4日にかけて行われた全国高等学校総合体育大会（インターハイ）で優勝を果たしました。優勝候補とされていた注目校を次々に破り、決勝では桐光学園（神奈川）をPK戦の末に下しての勝利。県勢では1979年の水戸商業高等学校以来44年ぶり2度目、市内の高校では初めての優勝となり、多くの方に感動を与えました。明秀日立サッカー部の今後の更なる活躍が期待されます。



インターハイ戦績

1 回 戦	対 静岡学園（静岡）	2 対 1
2 回 戦	対 関西大学第一（大阪）	2 対 0
3 回 戦	対 青森山田（青森）	1 対 0
準々決勝	対 高知（高知）	1 対 0
準決勝	対 日大藤沢（神奈川）	3 対 1
決 勝	対 桐光学園（神奈川）	2 対 2 (PK 7 対 6)



子 どもたちのアートの心を育てる ミウラナオコさんがワークショップを実施

8月5日から6日にかけて、市役所多目的ホールなどでミウラナオコさん（イラストレーター）、野澤寿子さん（染織作家）、北沢 努さん（彫刻家）による小・中学生を対象としたワークショップが開催されました。ふるさと日立大使であるミウラナオコさんは、水彩絵の具やペンを使ったワークショップを5日に実施。参加した子どもたちは、自分の好きな色を使ってオリジナルキャラクターを描き、ポストカードを制作しました。



度と戦争は起こさせない 終戦記念日に平和を願い市内を行進

8月15日、市役所大屋根広場などで「8.15 平和集会・平和行進」が実施されました。平和をまもる日立市民会議が主催する本取組は、終戦記念日である8月15日に毎年行われ、今年で57回目となります。大屋根広場での集会後、約120人の参加者が市役所から日立駅前まで行進し、駅前広場の平和の鐘の前で、正午の鐘の音とともに黙とうをしました。集会で小川市長は「戦争の悲惨さや平和の尊さについて今一度考え、後世へ繋いでいくことが大事」と話しました。



長

年の功績をたたえて 人権擁護委員2人に感謝状を贈呈

7月31日、人権擁護委員として長年市に貢献してきた山田禮子さんと下山田壽雄さん（ともに6月に退任）に、小川市長が感謝状を贈呈しました。市民からの人権相談や人権についての啓発活動を行う人権擁護委員。2人は約10年の任期中、小・中学校の人権教室や書道展などにも取り組んできました。小川市長は「経験豊富な2人が相談役になってくれて心強かったです」と功績をたたえました。この日は、法務大臣からの感謝状も贈呈されました。



夏

の夜空を彩る 2,000 発 ひたち河原子花火大会を開催

8月5日、河原子港で「ひたち河原子花火大会」が開催され、およそ3万人の来場者でにぎわいました。今年はステージや飲食ブースなどが4年ぶりに復活。たくさんのお店が並び、ステージでは市内ダンスチームの演技や河原子中学校による吹奏楽の演奏、河中エイサーの披露など、会場は日中から盛り上がりを見せました。ステージ発表後には、昨年の2倍となるおよそ2,000発の花火が夏の夜空を彩り、その迫力に会場からは多くの歓声が上がりました。

地

域ブランド認定品「茂宮かぼちゃ」 オリジナル加工品の販売会を実施

8月5日、市役所大屋根広場で、市の地域ブランド認定品「茂宮かぼちゃ」を使ったスイーツや加工品などを販売する「茂宮かぼちゃマルシェ」が開かれました。茂宮かぼちゃの生産者をめざす茂宮かぼちゃ塾のメンバーを中心に、市内の菓子店など11店舗が出店。塾生らが考案したオリジナルのぜんざいやモンブランなど、かぼちゃを使ったさまざまな商品が並びました。参加した塾生は「かぼちゃを普及させて、まちおこしに貢献できれば」と話しました。



鮮

やかなアンブレラスカイの中で 〇〇縁日 with at. ほーむを開催

7月22日から8月20日にかけて多賀市民プラザで行われたイベント「SUN SKY HITACHITAGA」に合わせ、8月5日に「〇〇縁日 with at. ほーむ」が開催されました。「老若男女、ハンディキャップがあろうがなかろうが、みんなが楽しい縁日」をテーマにした本イベントでは、クラフトワークショップや体験ブース、ライブ演奏などが行われたほか、市内外の飲食店やキッチンカーが出店。カラフルな傘の下、訪れた人たちはそれぞれ思い思いに楽しんでいました。